

Alibaba Cloud Elastic Compute Service

プロダクト紹介

Document Version20190624

目次

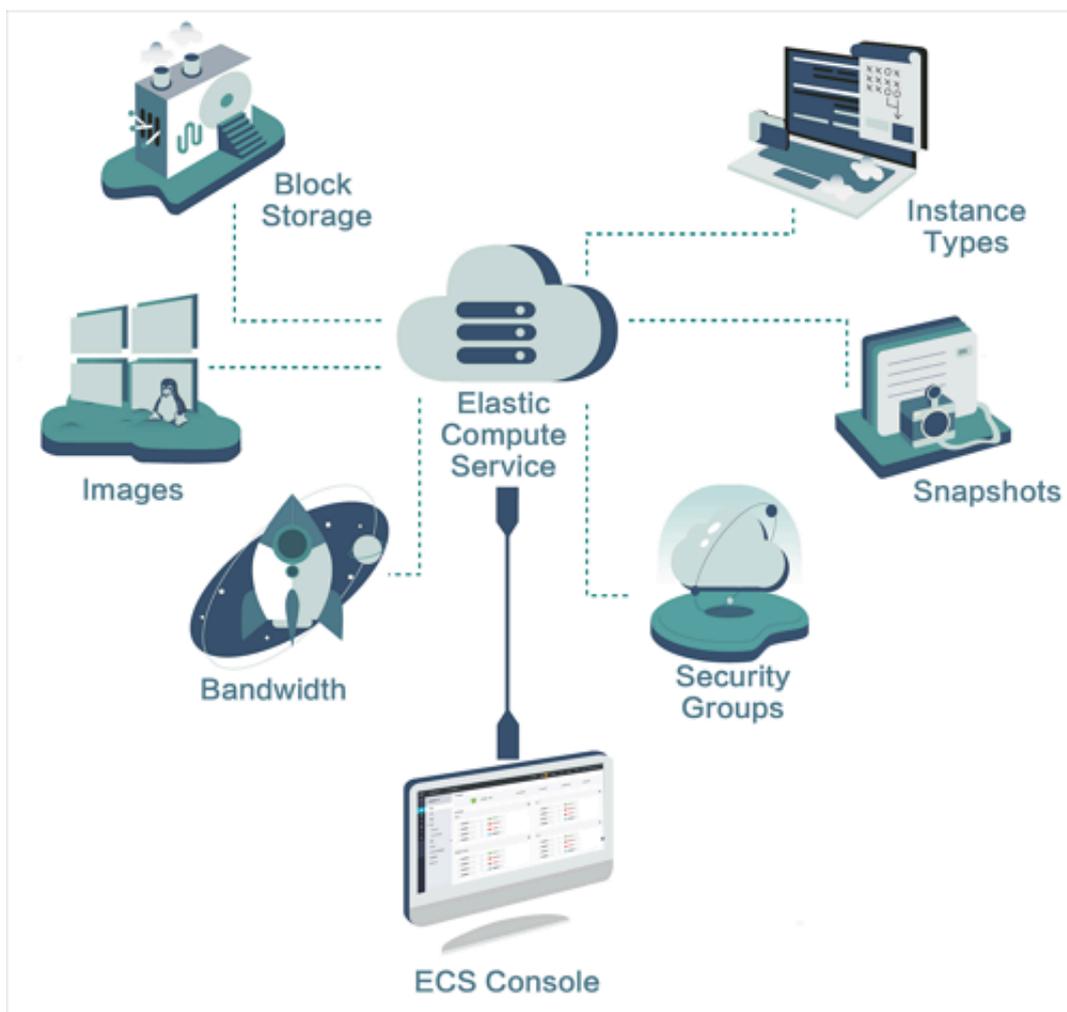
1 ECS の概要.....	1
2 ECS の利点.....	5
3 シナリオ.....	10
4 リージョンとゾーン.....	11
5 制限事項.....	14

1 ECS の概要

ここでは ECS について、リソースやサービスを含めて簡単に紹介します。

ECS (Elastic Compute Service) は、柔軟な処理機能の特徴とするコンピューティングサービスです。ECS は、物理サーバーよりもシンプルで効率的に管理することが可能です。ビジネスニーズを満たすため、インスタンスの作成、OS の変更、ECS インスタンスの追加やリリースがいつでも可能です。ECS インスタンスは仮想コンピューティング環境であり、CPU、メモリー、その他の基本的なコンピューティングコンポーネントを備えています。インスタンスは ECS のコアコンポーネントで、Alibaba Cloud が提供する実際のオペレーティングエンティティです。ディスク、イメージおよびスナップショットなどの他のリソースは、ECS インスタンスと一緒にのみ使用できます。

ECS インスタンスのコンセプトは以下の図のように表されます。[ECS コンソール](#)から、インスタンスタイプ、ディスク、OS および他の付随するリソースを使用できます。



基本概念

ECS をお使いになる前に、以下の概念を理解することが有用です。

- ・ **リージョンおよびゾーン**: データセンターが設置されている物理的な場所。
- ・ **ECS インスタンス**: 仮想コンピューティング環境。これには、CPU、メモリー、OS、帯域幅、ディスクおよび他の基本コンピューティングコンポーネントが含まれます。
- ・ **インスタンスタイプ**: ECS インスタンスの仕様。これには、vCPU コア数、メモリーおよびネットワークパフォーマンスが含まれます。ECS インスタンスのインスタンスタイプにより、処理機能が決定されます。
- ・ **イメージ**: ECS インスタンス用実行環境テンプレート。一般的に、OS およびプレインストール済ソフトウェアを含みます。
- ・ **ブロックストレージ**: お使いの ECS で使用できるブロックレベルのストレージプロダクト。これには、分散ストレージアーキテクチャをベースにした**クラウドディスク**および**共有ブロックストレージ**および、ECS インスタンスのホストとなっている物理サーバー上にある**ローカルディスク**を含みます。
- ・ **スナップショット**: ある時点でのエラスティックブロックストレージデバイス上のデータのコピー。
- ・ **ネットワークタイプ**:
 - **VPC (Virtual Private Cloud)**: Alibaba Cloud に確立されたプライベートネットワーク。VPC は、Alibaba Cloud における他の仮想ネットワークと論理的に分離されています。詳しくは、「[VPC の概要](#)」をご参照ください。
 - **クラシックネットワーク**: Alibaba Cloud のパブリックインフラストラクチャーに広くプロイされたネットワーク。
- ・ **セキュリティグループ**: インスタンスの論理グループで、同じリージョンにあり、同じセキュリティ要件を持ち相互に信頼関係があります。セキュリティグループは、その内部の ECS インスタンスの仮想ファイアウォールとして機能します。

操作

Alibaba Cloud により、お使いの ECS インスタンスを管理するための直感的な操作インターフェイスが提供されます。

- ・ ECS コンソールにログインし、ECS インスタンスを操作できます。詳しくは、「[クイックリファレンス](#)」をご参照ください。
- ・ お使いの ECS インスタンスを管理するために API を使用できます。詳しくは、「[API リファレンス](#)」をご参照ください。

- ・ ECS インスタンスの管理のために、Alibaba Cloud CLI を利用して API を呼び出すこともできます。詳しくは、「[Alibaba Cloud コマンドラインインターフェイス](#)」をご参照ください。
- ・ ECS リソースのプロビジョニングおよび管理のために、オープンソースツール Terraform を使用できます。Terraform により、Alibaba Cloud および他のサポートされるクラウドに対する、デプロイ設定やバージョン管理設定のシンプルなメカニズムが提供されます。詳しくは、「[Terraform とは](#)」をご参照ください。

ECS の価格および課金

ECS はサブスクリプションと従量課金方法の両方をサポートしています。詳しくは、「[課金方法](#)」をご参照ください。

価格の詳細については、「[価格](#)」ページをご参照ください。

ラーニングパス

[ECS ラーニングパス](#) を利用して ECS の基本事項や知識の習得が可能です。

関連サービス

以下のようなサービスが ECS とともに頻繁に利用されます。

- ・ [Alibaba Cloud Marketplace](#) はオンラインマーケットです。サードパーティパートナーにより提供される、ソフトウェアインフラストラクチャー、開発ツールおよび業務ソフトウェアを購入できます。販売したいソフトウェアがある場合には、マーケットプレイスサービスプロバイダーになることもできます。詳しくは、「[マーケットプレイス](#)」をご参照ください。
- ・ Auto Scaling により、お使いのコンピューティング能力を動的に拡大、または縮小することができます。これにより、指定したスケーリングポリシーに応じてお使いの ECS インスタンスのワークロードを満たすことができます。また、手動プロビジョニングの必要性を減らします。詳しくは、「[Auto Scaling の概要](#)」をご参照ください。
- ・ Container Service により、Docker および Kubernetes を利用し、コンテナ化されたアプリケーションのライフサイクルの管理を可能にします。詳しくは、「[Container Service の概要](#)」をご参照ください。
- ・ Server Load Balancer により、設定した転送ルールに応じて、複数の ECS 間の受信トラフィックが分散されます。詳しくは、「[Server Load Balancer の概要](#)」をご参照ください。
- ・ CloudMonitor により、ECS インスタンス、システムディスク、インターネット帯域幅および他のリソースが管理されます。詳しくは、「[CloudMonitor の概要](#)」をご参照ください。
- ・ Server Guard (サーバーセキュリティ) により、侵入イベントに対するリアルタイムの対応および防御が提供されます。これにより、お使いの ECS インスタンスのセキュリティを保護します。詳しくは、「[Server Guard の概要](#)」をご参照ください。

- ・ Anti-DDoS Basic により、お使いのインフラストラクチャーを回避するようにトラフィックをルーティングすることで、DDoS 攻撃を防御し、軽減することができます。Alibaba Cloud Anti-DDoS Pro により、大規模な DDoS 攻撃からお使いの ECS インスタンスが保護されます。詳しくは、「[Anti-DDoS Basic の概要](#)」および [Anti-DDoS Pro の概要](#)」をご参照ください。
- ・ Alibaba Cloud SDK により、お好きなプログラミング言語を使用して、Alibaba Cloud サービスへのアクセス、およびお使いのアプリケーションの管理が可能になります。詳しくは、「[開発者リソース](#)」をご参照ください。[OpenAPI Explore](#) を使用して、ECS API のデバッグおよび SDK デモの生成ができます。

2 ECS の利点

IDC (Internet Data Centers) およびサーバーベンダーと比較して、ECS は、可用性、セキュリティおよび弾力性の面に利点があります。

可用性

Alibaba Cloud は、より厳しい IDC 標準、サーバーアクセス標準および O&M 標準を採用し、クラウドコンピューティングインフラストラクチャーおよびクラウドサーバーのデータの信頼性および高可用性を保証します。

加えて、それぞれの Alibaba Cloud のリージョンは複数のゾーンにより構成されます。高いフォールトトレランスのために、アクティブ/スタンバイサービス、またはアクティブ/アクティブサービスが複数のゾーンにおいて構築できます。2つのリージョンの3つの IDC による金融指向のソリューションのために、複数のリージョンおよび複数のゾーンでフォールトトレランスシステムを構築できます。これらのサービスには、耐障害性およびバックアップが含まれます。これは、Alibaba Cloud により構築されたマチュアなソリューションにより提供されます。

サービス間の切り替えは Alibaba Cloud フレームワーク内でスムーズに行えます。詳しくは、「[E-Commerce ソリューション](#)」をご参照ください。Alibaba Cloud インダストリーソリューションは、金融サービス、電子商取引サービスおよびビデオサービスなどの豊富なサービスをサポートしています。

Alibaba Cloud は以下のようなサービスのサポートを提供しています。

- ・ 可用性向上のための製品およびサービスには、クラウドサービス、Server Load Balancer、マルチバックアップデータベースおよび DTS (Data Transmission Services) が含まれます。
- ・ 業界パートナーおよびエコシステムパートナーは、より高度で安定したアーキテクチャの構築を支援し、それによりサービスの継続性が保証されます。
- ・ 多様なトレーニングサービスにより、ビジネス面から基になる基本サービス面まで、高可用性につながります。

セキュリティ

クラウドコンピューティングユーザーにとって、セキュリティおよび安定性は優先事項です。Alibaba Cloud は多くの国際情報セキュリティ認証に合格しています。このような認証には、ユーザーのプライバシー保護のみならず、ユーザーデータおよびユーザー情報に厳しい機密性が求められる ISO 27001 および MTCS が含まれます。[Alibaba Cloud VPC \(Virtual Private Cloud\)](#) において ECS を使用することを推奨します。

- ・ Alibaba Cloud VPC はビジネスの可能性を高めます。

業務をより柔軟性が高く、安定し、かつ拡張可能にするために必要なことは、お使いの業務環境をグローバル IDC に接続するシンプルな設定を実行することだけです。

- ・ Alibaba Cloud VPC は、お使いの IDC に接続できます。

ハイブリッドクラウドアーキテクチャの構築には専用回線を使用します。Alibaba Cloud から様々なハイブリッドクラウドソリューションおよびネットワーク製品からなる信頼性の高いネットワークにより、より柔軟性のある業務を構築できます。優れた業務エコシステムが Alibaba Cloud のエコシステムにより可能になります。

- ・ Alibaba Cloud VPC はより安定性が高く、セキュリティ保護されています。

安定性: VPC 上に業務を構築後、お使いのネットワークアーキテクチャを更新でき、新しいネットワーク機能を日常的に取得できます。ネットワークインフラストラクチャーは常に進化し、利用する業務の確実な実行を可能にします。ニーズに応じて VPC 上のお使いのネットワークを分割、設定および管理することができます。

セキュリティ保護: VPC にはトラフィックの分離機能および攻撃の分離機能があります。これにより、お使いのサービスがインターネット上の攻撃トラフィックから保護されます。業務を VPC 上に構築することで、防御の第一線が確立されます。

VPC により、安定性、セキュリティ保護、高速配信、自己管理、制御可能、といった特色を持つネットワーク環境が提供されます。VPC ハイブリッドクラウドは、従来の業界に加えて、クラウドコンピューティングに関係していない業界や企業への、クラウドコンピューティングの技術的なアドバンテージをもたらします。

弾力性

弾力性はクラウドコンピューティングの重要な利点です。柔軟性はクラウドコンピューティングの重要な利点弾力。Alibaba Cloud を使用することで、中規模のサービスを提供する IT 企業のセットアップに必要なすべての IT リソースを数分以内に得ることができます。利用可能な機能およびリソースは、ほとんどの企業の要件を満たし、クラウド上で構築されたアプリケーションによる大規模なトランザクションを問題なく扱うことができます。

- ・ エラスティックコンピューティング

- 垂直スケーリングは、サーバーの設定変更を伴います。

ECS または Alibaba Cloud のストレージ容量を購入後、実際にお使いのトランザクション量を基にした柔軟性のより高いサーバーを設定することができます。従来の IDC モデ

ルでの設定変更は難しい場合があります。垂直スケーリングに関して詳しくは、「[設定変更](#)」をご参照ください。

- 水平スケーリング

水平スケーリングは、アプリケーション間のリソースの再分割を可能にします。たとえば、ゲームやライブビデオストリーミングアプリなどのピーク時間で、従来の IDC モデルでは、すでに全容量に達した際に追加のリソースが必要になった場合、手を止めなければならなくなることがあります。そのようなとき、クラウドコンピューティングでは追加のリソースを提供する弾性があります。ピーク時間が過ぎた後は、必要のないリソースをリリースして、お使いの業務コストを削減できます。Alibaba Cloud が提供する水平スケーリングと自動スケーリングの両方を使用することで、いつ、どのようにお使いのリソースをスケールするか、または業務負荷を基にしたスケーリングを適用するか、を決めることができます。水平スケーリングについて詳しくは、「[Auto Scaling](#)」をご参照ください。

・ エラスティックストレージ

Alibaba Cloud はエラスティックストレージを提供しています。従来の IDC モデルでは、より多くのストレージスペースが必要な場合、サーバーを追加することのみ可能ですが、追加できるサーバー数は制限されます。クラウドコンピューティングモデルでは、制限がありません。業務要求を満たすために必要とするだけのストレージスペースを注文できます。エラスティックストレージについて詳しくは、「[ディスクサイズの変更](#)」をご参照ください。

・ エラスティックネットワーク

Alibaba Cloud では、同様にエラスティックネットワーク機能を提供しています。Alibaba VPC (Virtual Private Cloud) を購入の際、ネットワーク構成を設定することにより、データセンターのネットワーク構成と同様に設定することができます。加えて、VPC には以下のようなメリットがあります: データセンター間の相互接続、データセンターにおけるセキュリティ保護されたドメインの分割、および VPC 内の柔軟なネットワーク設定と計画です。エラスティックネットワークについて詳しくは、「[VPC \(Virtual Private Cloud\)](#)」をご参照ください。

Alibaba Cloud では、コンピューティング、ストレージ、ネットワークおよび業務アーキテクチャデザインに関して弾性があります。Alibaba Cloud の利用により、ご希望の方法で利用する業務ポートフォリオを構築できます。

ECS と従来の IDC との比較

従来の IDC と比較した場合の ECS のメリットを以下のようにまとめます。

項目	ECS	従来の IDC
機器室	独自に開発された低 PUE の DC 電源サーバーを提供	高 PUE の従来型の AC 電源サーバーを提供
	高アウトバンド帯域幅を持つバックボーン機器室および専用帯域幅を提供	さまざまな品質レベルの機器室および主に共有の帯域幅を提供し、ユーザーによる選択が難しい
	世界中にスムーズでバランスのとれたアクセスを可能にする複数ラインの BGP 機器室を提供	1 つまたは 2 つの優先ラインを持った機器室を提供
操作の簡単さ	ライセンス認証済み Windows OS を含むビルトインメインストリーム OS の提供	手動での OS の購入およびインストール
	オンラインで OS の切り替え	手動での OS の再インストール
	オンライン管理用 Web ベースコンソールの提供	ユーザーによるネットワーク管理やメンテナンスが必要
	パスワード設定、データセキュリティの向上のための携帯電話検証	パスワードの再設定が難しくパスワードクラッキングのリスクが高い
ディザスタリカバリおよびバックアップ	それぞれのデータセグメントに対して複数のコピーを持つ。1 つのコピーが破損した場合でも、データを素早く復旧	ユーザーによるディザスタリカバリ環境の構築および従来のストレージデバイスの使用が必須
	自動スナップショットポリシーのカスタマイズによる、データ復旧用自動スナップショットの作成が可能	すべての破損データをユーザーが手動で復旧することが必要
	素早く、自動的なエラー復旧が可能	自動的なエラー復旧は不可能
セキュリティおよび信頼性	MAC スプーフィングおよび ARP 攻撃を効果的に防止	MAC スプーフィングおよび ARP 攻撃の防止の失敗
	ブラックホールの使用およびトラフィックのクリーニングによる DDoS 攻撃からの効果的な防御	トラフィッククリーニングおよびブラックホールシールドシステム用のデバイスへの追加コストが必要

項目	ECS	従来 of IDC
	ポートのスキャン、トロイの木馬のスキャンおよび脆弱性のスキャンなどの追加サービスを提供	脆弱性、トロイの木馬、ポートのスキャンなどの典型的な問題に直面
柔軟なスケーラビリティ	必要に応じたクラウドサーバーの有効化およびオンラインでの設定のアップグレード	サーバー配信に長時間必要
	必要に応じてアウトバウンド帯域幅を調整	調整不可能なアウトバウンド帯域幅を1回ずつ購入
	オンラインでの Server Load Balancer 結合により素早く簡単にアプリケーションの拡大が可能	ハードウェアベースのサーバー負荷分散の使用により高コストでセットアップが非常に困難
費用効率	低コスト	高コスト
	少ない先行投資	大きな先行投資によりリソースが浪費される可能性
	絶え間ない業務変更の必要性を満たす、必要に応じた購入および従量課金	ピーク時間への要件設定を満足させるように事前に購入

3 シナリオ

ECS は高い柔軟性を持ったソリューションです。独立したシンプルな Web サーバーとして、または、OSS (Object Storage Service) および CDN (Content Delivery Network) などの他の Alibaba Cloud 製品と併せて使用でき、高度なソリューションが提供されます。

ECS は以下のようなアプリケーションで使用することができます。

公式企業 Web サイトおよびシンプルな Web アプリケーション

初期ステージの間、企業 Web サイトはトラフィック量が少なく、アプリケーション、データベース、ストレージファイルおよび他のリソースの実行のために少なく設定された ECS インスタンスのみが必要です。ご利用の業務が拡大した際、いつでも ECS 設定のアップグレード、および ECS インスタンス数の加増が行えます。トラフィックのピーク時にリソース不足を心配する必要はありません。

マルチメディアおよび大規模なトラフィックアプリまたは Web サイト

ECS は OSS と併せて使用することで、静的イメージ、静的ビデオおよびダウンロードしたパッケージを保存できます。これにより、保管料を削減できます。加えて、ECS は CDN または Server Load Balancer と併せて使用することで、ユーザーがアクセスした際の待機時間の大幅な削減、帯域幅料の削減、可用性の向上が可能です。

データベース

高く設定された I/O 最適化 ECS インスタンスを SSD クラウドディスクと併せて使うことで、高いデータ信頼性を持った高い I/O 同時実行性がサポートされます。あるいは、複数の低い設定の I/O 最適化 ECS インスタンスを Server Load Balancer と併せて使うことで、高可用性アーキテクチャの配信が可能になります。

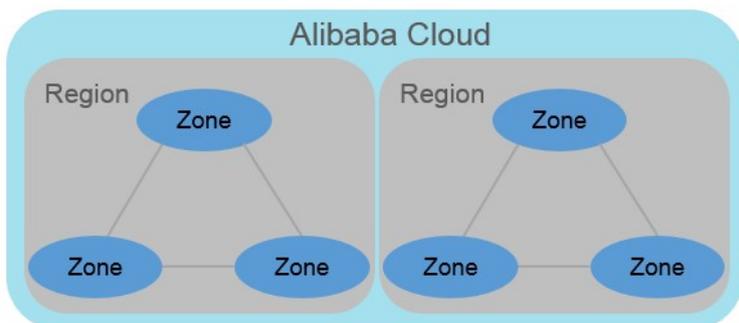
大きなトラフィック変動幅を持つアプリまたは Web サイト

アプリケーションによっては、短い時間に大きなトラフィックの変動幅が発生することがあります。ECS を Auto Scaling と併せて使用した場合、ECS インスタンス数はトラフィックを基に自動的に調整されます。この機能により、低コストのままリソース要件を満たすことが可能になります。ECS を Server Load Balancer と併せて使うことで、高可用性アーキテクチャの配信が可能になります。

4 リージョンとゾーン

本ドキュメントでは、Alibaba Cloud のリージョンとゾーンの完全なリストを提供します。

Alibaba Cloud の各リージョンは独立しています。Alibaba Cloud の各ゾーンは完全に分離されています。ただし、同じリージョン内のゾーンは、低遅延でリンクを介して接続されています。次の図は、Alibaba Cloud のリージョンとゾーンの関係を示しています。



リージョン

Alibaba Cloud リージョンは、ネットワークレイテンシを短縮するために、世界各地に展開されている物理的な場所 (データセンター) です。リソースがリージョンに作成された時点で、そのリージョンを変更することはできません。次の表に、すべての Alibaba Cloud リージョン、対応する都市、およびリージョン ID を示します。



注:

使用可能なリージョンは、プロダクトによって異なります。各プロダクトで使用可能なリージョンの一覧を確認するには、[Alibaba Cloud グローバルインフラストラクチャ](#)をご参照ください。

・ 中国本土リージョン

リージョン名	都市	リージョン ID	ゾーン数
中国北部 1	青島	cn-qingdao	2
中国北部 2	北京	cn-beijing	7
中国北部 3	張家口	cn-zhangjiakou	2
中国北部 5	フフホト	cn-huhehaote	2
中国東部 2	杭州	cn-hangzhou	8
中国東部 2	上海	cn-shanghai	6
中国南部 1	深セン	cn-shenzhen	5

- ・ 国際リージョン

リージョン名	都市	リージョン ID	ゾーン数
香港	香港	cn-hongkong	2
シンガポール	シンガポール	ap-southeast-1	3
アジア太平洋 SE 2	オーストラリア (シドニー)	ap-southeast-2	2
アジア太平洋 SE 3	マレーシア (クアラルンプール)	ap-southeast-3	2
アジア太平洋 SE 5	ジャカルタ	ap-southeast-5	2
アジア太平洋 SOU 1	インド (ムンバイ)	ap-south-1	2
アジア太平洋 NE 1	日本 (東京)	ap-northeast-1	2
米国西部 1	シリコンバレー	us-west-1	2
米国東部 1	バージニア	us-east-1	2
EU 中央 1	フランクフルト	eu-central-1	2
イギリス (ロンドン)	ロンドン	eu-west-1	2
中東 1	ドバイ	me-east-1	1

リージョンを選択するときは、次の点を考慮してください。

- ・ 地理的位置

ユーザーとターゲットユーザーの地理的な場所に基づいてリージョンを選択します。

- 中国本土リージョン

一般に、ターゲットユーザーにアクセスしやすくするように、最寄りのデータセンターを選択することをお勧めします。中国本土リージョンの Alibaba Cloud データセンターは、インフラストラクチャ、BGP ネットワーク品質、サービス品質、ECS 運用および構成の点で互いに類似しています。これらのリージョンでは、中国本土内での迅速で安定したアクセスを保証するために、すべての省、自治区、および市町村をカバーする BGP バックボーンネットワーク回線が提供されています。

- 国際リージョン

Alibaba Cloud の海外リージョンのデータセンターは、中国本土以外に設置されています。それらは中国本土以外のリージョンをターゲットにした、国際帯域幅でのアクセスを提供します。これらのリージョンでデプロイされているサービスに中国本土のユーザー

からアクセスすると、待ち時間が長くなる可能性があります。そのため、中国本土のユーザーの場合は、国際リージョンにてサービスをデプロイすることはお勧めしません。

- 香港または東南アジアで事業を展開する場合、香港、シンガポール、マレーシア、またはインドネシアのリージョンを選択します。
- 日本や韓国で事業を展開する場合、アジア太平洋 NE 1 を選択します。
- インドで事業を展開する場合、アジア太平洋 SOU 1 を選択します。
- オーストラリアで事業を展開する場合、アジア太平洋 SE 2 を選択します。
- 米国で事業を展開する場合、米国東部 1 または米国西部 1 を選択します。
- ヨーロッパ大陸で事業を展開する場合、EU 中部 1 を選択します。
- 中東で事業を展開する場合、中東東部 1 を選択します。

・ リージョンを越えた Alibaba Cloud 製品間のイントラネット通信

同じリージョンに設置されていない Alibaba Cloud 製品間のイントラネット通信はサポートされていません。

- ECS インスタンスと他のプロダクト (ApsaraDB for RDS や OSS インスタンスなど) が異なるリージョンにある場合、相互にイントラネット通信することはできません。
- Server Load Balancer を、異なるリージョンの ECS インスタンスにデプロイすることはできません。

・ リソース価格

リソースの価格はリージョンによって異なります。詳細は、[製品の価格](#)をご参照ください。

ゾーン

ゾーンは、リージョン内に独立したパワーグリッドおよびネットワークを持った物理エリアです。同じゾーン内のインスタンスのネットワーク遅延は低くなります。

イントラネット通信は、同じリージョンの異なるゾーン内のインスタンス間で発生し、ゾーン間で障害分離が実現されます。インスタンスを同じゾーンにデプロイできるかどうかは、ディザスタリカバリとネットワーク遅延の要件によって異なります。

- ・ 高いディザスタリカバリ能力を必要とするアプリケーションの場合、同じリージョンの異なるゾーンにインスタンスを配置することを推奨します。
- ・ インスタンス間で低ネットワークレイテンシーを必要とするアプリケーションの場合、同じゾーンにインスタンスを作成することを推奨します。

リージョンとゾーンの詳細については、[Alibaba Cloud Global Infrastructure](#) をご参照ください

5 制限事項

ECS を使用するときは、次の制限事項に注意してください。

- ・ ECS は、仮想アプリケーションのインストールや再仮想化 (VMware のインストールなど) をサポートしません。現在、[ECS ベアメタルインスタンスおよびスーパーコンピューティングクラスター](#) の再仮想化のみがサポートされています。
- ・ ECS はサウンドカード利用するアプリケーションをサポートしていません。
- ・ ECS は外付けハードウェアデバイス (dongle、USB ドライブ、外付けハードドライブなど) を直接サポートしません。代わりに、ソフトウェア保護 dongle または動的パスワードによる二段階認証をサポートします。
- ・ ECS は SNAT などの IP アドレス変換サービスをサポートしません。代わりに、VPN またはプロキシをサポートします。
- ・ ECS はマルチキャストプロトコルをサポートしません。マルチキャストサービスが必要な場合は、代わりにポイントツーポイントユニキャストを使用することを推奨します。
- ・ 現在、Log Service は 32 ビット Linux ECS インスタンスをサポートしていません。Log Service をサポートするリージョンについては、「[サービスエンドポイント](#)」をご参照ください。Log Service をサポートするオペレーティングシステムについては、[概要](#)をご覧ください。

上記の制限に加え、以下に ECS の制限の詳細と、制限変更に必要なチケットの起票が可能かを示します。

ECS インスタンス

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
インスタンスを作成する権限	中国本土リージョンで ECS インスタンスを作成する前に、実名登録を完了すること。	いいえ
従量課金インスタンスを作成できるインスタンスの種類	vCPU が 16 未満のインスタンスタイプ	はい
1 つのアカウントに対する各リージョンの従量課金インスタンスのデフォルトクォータ	50 vCPU (メンバーシップレベルに応じて増加)	はい

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
1つのアカウントに対する各リージョンのプリエンプティブインスタンスのデフォルトクォータ	権限が付与された後、最大50個のvCPUを許可。クォータはメンバーシップレベルに応じて増加。	はい
1つのアカウントに対する各リージョンの起動テンプレートのデフォルトクォータ	30	いいえ
1つの起動テンプレートバージョンのデフォルトクォータ	30	いいえ
従量課金からサブスクリプションへの切り替え	次のインスタンスタイプ（ファミリー）はサポートされない。t1, s1, s2, s3, c1, c2, m1, m2, n1, n2, および e3.	いいえ

ブロックストレージ

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
従量課金のクラウドディスクの作成	中国本土リージョンでクラウドディスクを作成する前に、 実名登録 を完了してください。	いいえ
1つのアカウントに対する全リージョンの従量課金クラウドディスクのデフォルトクォータ	ユーザーアカウント数×5未満の全リージョンの従量課金インスタンスの数	はい
1つのインスタンスのシステムディスクデフォルトクォータ	1	いいえ
1つのインスタンスのデータディスクデフォルトクォータ	16 (クラウドディスクと共有ブロックストレージを含む)	いいえ
1つの共有ブロックストレージをアタッチできるインスタンスデフォルトクォータ	8	いいえ
1つのアカウントに対する全リージョンの共有ブロックストレージのデフォルトクォータ	10	はい

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
基本クラウドディスク 1 台の容量	5 GiB - 2,000 GiB	いいえ
SSD クラウド ディスク 1 台の容量	20 GiB - 32,768 GiB	いいえ
Ultra クラウド ディスク 1 台の容量	20 GiB - 32,768 GiB	いいえ
ローカル SSD ディスク 1 台の容量	5 GiB - 800 GiB	いいえ
1 インスタンスのローカル SSD ディスク 1 台の容量	1,024 GiB	いいえ
ローカル NVMe SSD ディスク 1 台の容量	1,456 GiB	いいえ
1 インスタンスに対するローカル NVMe SSD ディスクの容量	2,912 GiB	いいえ
ローカル SATA HDD ディスク 1 台の容量	5,500 GiB	いいえ
1 インスタンスのローカル SATA HDD ディスクの容量	154,000 GiB	いいえ
SSD 共有ブロックストレージ 1 台の容量	32,768 GiB	いいえ
1 インスタンスに対する SSD 共有ブロックストレージの容量	128 TiB	いいえ
Ultra 共有ブロックストレージ 1 台の容量	32,768 GiB	いいえ
1 インスタンスに対する Ultra 共有ブロックストレージの容量	128 TiB	いいえ
ESSD ディスク 1 枚の容量	32,768 GiB	いいえ

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
1 システムディスクの容量	<ul style="list-style-type: none"> Windows : 40 GiB – 500 GiB Linux (CoreOS を除く) と FreeBSD : 20 GiB – 500 GiB CoreOS : 30 GiB – 500 GiB 	いいえ
1 データディスクの容量	<ul style="list-style-type: none"> ベーシッククラウドディスク: 5 GiB - 2,000 GiB SSD クラウドディスク/ウルトラクラウドディスク/SSD 共有ブロックストレージ/ウルトラ共有ブロックストレージ: 20 GiB - 32,768 GiB ローカルディスク: 特定のディスクに依存 	いいえ
ローカルディスクを持つインスタンスに新しいローカルディスクを接続	この機能はサポートされていません	いいえ
ローカルディスクを持つインスタンスの設定変更	帯域幅の変更のみを許可	いいえ
システムディスクのマウントポイント	/ dev / xvda	いいえ
データディスクのマウントポイント	/ dev / xvd[b-z]	いいえ



注:

ブロックストレージ容量はバイナリ単位で測定 1 KiBは 1,024バイト 1 MiB は 1,024 KiB 1 GiB は 1,024 MiB 1 TiB は 1,024 GiB

スナップショット

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
スナップショットのクォータ	クラウドディスクと共有ブロックストレージそれぞれに、最大 64 個のスナップショットが作成可能	いいえ

イメージ

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
1つのアカウントに対する1つのリージョンのカスタムイメージクォータ	100 (メンバーシップレベルに応じて増加)	はい
1つのイメージを共有できる最大ユーザー数	50	はい
インスタンスタイプでのイメージ使用	32 ビットイメージは、4 GiB 以上の RAM を持つインスタンスではサポートされません	いいえ

キーペア

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
1つのアカウントに対する1つのリージョンキーペアのクォータ	500	いいえ
キーペアをサポートするインスタンスタイプ	第1世代の非 I/O 最適化インスタンスタイプを除くすべてのインスタンスタイプ	いいえ
キーペアをサポートするイメージ	Linux イメージのみ	いいえ

インターネット帯域幅

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
最大インバウンドインターネット帯域幅	200 Mbit / 秒	いいえ
最大アウトバウンドインターネット帯域幅	<ul style="list-style-type: none"> サブスクリプションインスタンス: 最大200 Mbit / 秒 従量課金インスタンス: 最大100 Mbit / 秒 	いいえ
1つのインスタンスに割り当てられたインターネットアドレスを変更	6時間未満の有効インスタンスインスタンスのインターネットアドレスは3回変更可能	いいえ

セキュリティグループ

項目	制限事項	制限を変更するためにチケットが起票できるか
1つのアカウントに対する1つのリージョンのセキュリティグループのクォータ	100 (メンバーシップレベルに応じて増加)	はい
1つのセキュリティグループに対するインスタンスおよびIPアドレスのクォータ	<ul style="list-style-type: none"> 従来のネットワークインスタンスのセキュリティグループ: 1,000の従来のネットワークインスタンス VPC インスタンス用のセキュリティグループ: 2,000のプライベートIPアドレス (プライマリおよびセカンダリネットワークカードで共有) 	いいえ
1つのインスタンスに対して各 ENI (Elastic Network Interface) が属するセキュリティグループのクォータ	500	いいえ
1つのインスタンスに対して各 ENI (Elastic Network Interface) が属するセキュリティグループのクォータ	5	上限を10から16に引き上げるチケットが起票できるか

項目	制限事項	制限を変更するためにチケットが起票できるか
1つのセキュリティグループに対するルールのクォータ	100	いいえ セキュリティグループクォータが増加するにつれて減少する 詳細な制限については、「セキュリティグループ」をご参照ください。 セキュリティグループ
ポート	アウトバウンドインターネットトラフィックの場合、デフォルトの STMP ポートは 25 です。これはデフォルトで無効になっており、セキュリティグループのルールで有効にすることはできません。	有効にするにはチケットを起票してサポートセンターへお問い合わせください。詳細については、 TCPポート25を有効にする要求 をご参照ください。

デプロイメントセット

項目	制限事項	制限を変更するためにチケットが起票できるか
アカウントの1つのリージョンにおけるデプロイメントセットのクォータ	2	いいえ
デプロイメントセットに含めることができるインスタンスの数	1つのゾーンに7つのインスタンスが許可されている1つのリージョンで許可されるインスタンス数は、ゾーン数×7	いいえ
1つのデプロイメントセットに作成できるインスタンスの種類	c5、g5、hfc5、hfg5、r5、se1ne、sn1ne、および sn2ne	いいえ

ENI

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
1つのアカウントに対する1つのリージョンENIクォータ	100 (メンバーシップレベルに応じて増加)	はい

タグ

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
1つのインスタンスにバインドできるタグのクォータ	20	いいえ

API

項目	制限事項	制限変更に必要なチケットの起票が可能か
CreateInstance 呼び出しのクォータ	毎分 200 回	はい



注：

VPC 製品の制限については、「[制限事項](#)」をご参照ください。